

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 京都府議会議員 西野さち子 です!

発行：2021年10月17日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



政権交代でくらし・いのちを守る政治に!



10月10日の午前中、武山彩子比例予定候補と西野市議が醍醐小栗栖地域で訴えました。高齢者施設の前では、横の団地から何人もの方がベランダで聞いておられ、スーパー前では、買い物客が立ち止まって聞き入る姿や挨拶をして通られる姿が多く、選挙の雰囲気が出てきました。

「日本共産党は4つの柱で政策を提案しています。若者から高齢者まで、希望の持てる政治をつくるための選挙です。市民連合や野党共闘で政治を変えるチャンスです。声を上げれば政治が動きます。」と訴えて回りました。



まちづくり、暮らしの願い届け 市議会で徹底追及!!

昨年度の決算を審議する議会が始まっています。局別質疑での西野市議の主な質問を紹介します。

教育委員会

コロナ禍の下で教育費の負担がこれまで以上に重くなっています。遠距離通学の交通費や隠れ教育費と言われている義務教育の中の負担軽減について質問しました。定期代は1か月につき小学校は2,880円、中学校は4,800円までは自己負担です。超えた分や兄弟二人目からは無料ですが、負担は重いです。桃山中学校はダントツで全校生徒の半数以上の300人が定期代の負担をして通学しています。交通費以外でもPTA費などの学校預かり金が年間約7万円必要です。支援の拡大を求めました。教育委員会は「受益者負担。」としながらも「出来るだけ負担を軽減するために今後も努力する。」と答弁しました。

都市計画局

これまで観光・インバウンド一辺倒の方針で、路地の全てや大半が民泊になってしまった所があります。また、土地の買収が進み地価の高騰で固定資産税が高くなり、住めない町になった地域もあります。若年・子育て層が市外に流出しています。これまでの観光客呼び込み型のまちづくりの総括を求めました。コミュニティを壊してきた反省をすべきことや、高さ規制の緩和をさらに進める方針を見直すべきと求めました。また、大岩山について、代執行の費用として約2億円の予算を使わなくてもよくなったと不用額として計上しています。なぜ2億円なのか計算根拠の資料を求めました。理事者は「提出する」と答弁しました。



気候危機
見て見ぬふりはできない
気候危機はもう見て見ぬふりはできません。グレタさんたち世界の若者が立ち上がっています。共産党市会議員団は、運動に呼応して議会中ではありませんが、お昼休みにスタンディングアピールをしました。日本共産党は2030年までにCO2を50%〜60%削減し省エネ・再生可能エネで雇用の拡大をすること等「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」を発表しています。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

困ったときは...
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

☎621-6717